

第39回 山科義士まつり

日時 12月14日(土)午前10時～午後3時
コース 毘沙門堂(スタート)→ラクトB 大丸前→
ヒカリ屋駐車場舞台→新十条通→岩屋寺・
大石神社(解散)



大石内蔵助ゆかりの地、山科の年末を彩る風物詩として親しまれている「山科義士まつり」。今年も、区民の皆さんと区内の企業、行政が協働して開催されます。



各学区の皆さんによる討ち入り装束に身を固めた義士隊四十七士の行列が、毘沙門堂から大石神社まで練り歩きます。コース途中に設けられた舞台(ヒカリ屋駐車場)では、「刃傷松の廊下」、「連判状改め」などのパフォーマンスや「元禄花見踊り」なども披露されます。山科発祥のまつり「山科義士まつり」にぜひお越しください。

山科義士まつり写真コンクール作品募集

まつり当日の写真を募集します。優秀作品は表彰し、平成26年2月23日開催の区民ふれあい文化祭会場(東部文化会館)、区役所及びラクト山科ショッピングセンターにて展示します。たくさんのご応募をお待ちしています。

- 応募規格/四つ切またはワイド四つ切(額装なし)
- 応募方法/作品の裏面に、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、タイトルを明記のうえ、平成26年1月15日(水)(消印有効)までに、〒607-8511(住所不要)区まちづくり推進担当まで郵送または持参してください。
- その他/・1人1点、山科義士まつり当日の写真で未発表の作品に限ります。・山科こども歌舞伎に関する写真は対象外となります。・応募作品は原則として返却しません。・優秀作品は山科義士まつりホームページに掲載します。

ラクト山科ショッピングセンターでの展示

- 場所/ラクト4階(地下鉄「山科駅」下車)
- 期間/平成26年1月25日(土)～2月9日(日)

山科義士まつりホームページ <http://gishimatsuri.com/>

主催/山科義士まつり実行委員会 問合せ先/区まちづくり推進担当 ☎592-3088

12月1日は世界エイズデーです!

世界保健機関(WHO)は、1988年に12月1日を“World AIDS Day”(世界エイズデー)と定めました。日本でも、毎年12月1日を中心にエイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進しております。

HIV(エイズ)検査を受けてみませんか?

京都市では、平成18年以降、毎年20人前後の方が新たにHIV感染者・エイズ患者として報告されています。エイズといえば、不治の病というイメージがあるかもしれませんが、しかし、現在では、早期に発見し、適切に治療することで、エイズの発症を遅らせることができます。

<山科保健センターでのHIV抗体検査のご案内>

- 実施日/毎週金曜日9:00～11:00(検査結果は2週間後にお渡しします。指定の日時に必ず本人が保健センターにお越しください。)
- 料金/無料 ※匿名で受けることができます。京都市では市内各保健センターでの実施や夜間及び土曜HIV即日検査も実施しています。詳しくは区保健センターまでお問い合わせください。

同日、希望される方には、B型・C型肝炎ウイルス、梅毒、クラミジア、淋菌の検査も行っています。

- 問合せ先/区保健センター成人保健・医療担当 ☎592-3477

人権月間「山科区人権講演のつどい」

12月は人権月間です。人権について考える機会として、講演のつどいを開催します。

- 日時/平成25年12月6日(金)13:30～15:30(予定)
- 場所/東部文化会館 ホール
- 定員/500名(先着順。当日、会場へお越しください。)
- 入場料/無料

当日、手話通訳・要約筆記をご希望の方は、11月25日(月)までにまちづくり推進担当(FAX502-8881)へお申し込みください。

- 歌・トーク/う～み氏(シンガーソングライター) じんけんコンサート「あなたに会えてよかった」
- 講演/鈴木光司氏(作家)「新しい家族のあり方～パートナーシップと子育て～」(男女共同参画)



▲う～み氏



▲鈴木光司氏

人権啓発ポスター展

区内市立中学校の生徒による「人権啓発ポスター」の作品展示を行います。

- 期間/平成25年12月2日(月)～13日(金)
- 場所/山科区役所1階ロビー
- 問合せ先/山科区地域啓発推進協議会(事務局:まちづくり推進担当 ☎592-3088)

平成25年度 山科区民花の回廊募金

山科区民花の回廊募金では、山科区が花と緑に彩られた美しいまちになるよう、花の回廊を整備しています。

平成25年度は、山科疏水沿いの東山自然緑地にヤマザクラを植樹

していくことになりました。

地域や花の好きなグループなど皆さんからの募金をお待ちしています。

- 申込方法/募金を添えて、区ま



ちづくり推進担当までお越しください。

個人一口:3,000円から
団体・企業一口:30,000円から

※一口以下の場合でも受け付けさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

- 植樹場所/東山自然緑地(山科疏水公園)
- 植樹式/3月頃に募金者の皆さんをお招きして植樹式を行います。
- 主催/ふれあい“やましな”実行委員会
- 問合せ先/区まちづくり推進担当 ☎592-3088

第20回

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

連載 区民活動きずなリレー

～山科の歴史を熱演!!～

山科こども歌舞伎

(山科“きずな”支援事業補助金交付事業)

「とさい、とうさい～」和室に軽快な口上が響き、浴衣に帯を締めた子どもたちが凛とした姿勢で動きます。今年も山科こども歌舞伎塾の塾生たちが12月の忠臣蔵の公演に向け、稽古に汗を流しています。

山科といえば、忠臣蔵の大石内蔵助ゆかりの地。12月14日に行われる義士祭には大勢の参加者でにぎわいますが、子どもたちに地域の歴史をより認識してもらおうと、伝統芸能である歌舞伎の「仮

名手本忠臣蔵」を修練し、演じる「山科こども歌舞伎」が4年前に立ち上がりました。

最初の年は幼稚園の園児による公演だけでしたが、卒園生が続きたいという希望があり塾を結成。現在11人が塾生として活動しています。塾長になって3年目の小学校4年生の大橋さんは「周りには歌舞伎をしている人はほとんどいません。日本の文化を体験できるのが楽しい。」と語ります。

発起人の一人、大石神社の進藤宮司は「山科の歴史を子どもたちに伝えたくて始めました。昨年



熱の入った稽古です

から専門の先生に来て稽古をしてもらっています。稽古ではまだまだ子どもですが、本番では大人顔負けの素晴らしい演技をしますよ。」とのこと。子どもたちだけでなく、保護者も山科の歴史に興味を持つようになり、公演に友人を誘ってくれるなど、広がりの手ごたえも感じているそうです。

悩みは、各人に合わせて作るかつらを筆頭に衣装にお金がかかることで、昨年山科“きずな”支援事業の助成金を受けることができて助かっているそうです。

また、今年は徳林庵や清水焼の郷まつりなどでの公演も実施し、より広く活動を知ってもらい、塾生の募集もしているそうです。

冒頭の口上を練習していた小学校4年生の棚橋さんは今年で5回目の参加。「歴史が好きというわけではなかったけど、やっていたら面白くなった。普段と違う着物がカッコいいと思う。」と教えてくれました。

今年の公演は義士まつりと同日。こども歌舞伎と義士まつり、ぜひ両方ともご覧ください。

公演情報

- 日時/12月14日(土)12:30開演
- 場所/大石神社 本殿
- 問合せ先/区総務・防災担当 ☎592-3066